

# 石狩市下水道中期ビジョン

(2010～2019)



## アクションプログラム（施策の実施時期）

具体的施策	前 期					後 期				
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
効果的な汚水処理の推進	■					■				
公共用水域の水質保全(高度処理)						■				
耐震診断と補強工事			■							
雨水の整備	■									
施設の効率的な改築・更新			■							
支出の削減(民間委託・維持管理費・職員数の見直し)	■									
収入の確保(有収率および収納率の向上・使用料の見直し)	■									
札幌市建設負担・維持管理負担の軽減	■									

## 施策の実施について

本ビジョンに掲げる施策の実施にあたっては、財政的なシミュレーションを行いながらアクションプログラムに基づいて行います。

なお、本ビジョンはおおむね5年ごとの見直しを予定していますが、事業経営を取り巻く環境に変化が生じた場合は期間にこだわることなく見直しを行います。

## 問 合 せ 先



石狩市 建設水道部 水道室 下水道課  
 TEL 0133-72-3176 FAX 0133-75-2278  
 E-mail gesui@city.ishikari.hokkaido.jp

ビジョンの詳細は、石狩市HPをご覧ください。  
<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/>



石狩川河口



あそびーち石狩



茨戸川

## 基本理念 『暮らしと環境を守る下水道を次代へ』

「下水道中期ビジョン」は、  
 目指すべき下水道の将来目標と、その実現に向けた  
 概ね10年間に取り組むべき施策を示しています。

本市の下水道は、昭和48年に事業を着手して以来、市街地の拡大や人口増加などを前提に整備を進めてまいりました。

しかし、近年、整備率が向上したことや、少子高齢化、人口減少時代の到来などにより、下水道を取り巻く環境は大きく変化しています。

市は、このような変化に対応するため、下水道が目指すべき将来目標と、今後10年間に取り組むべき施策を市民の皆様にご理解いただき、より効果的な下水道事業の運営を行うための基本計画として「石狩市下水道中期ビジョン」を策定いたしました。

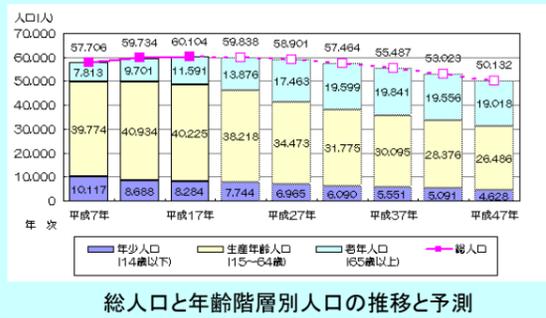
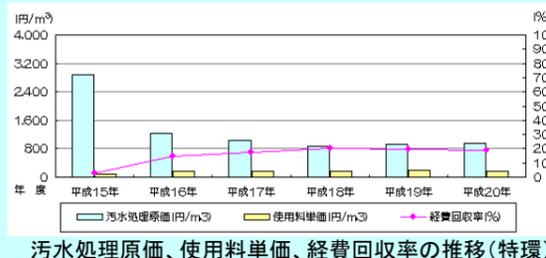
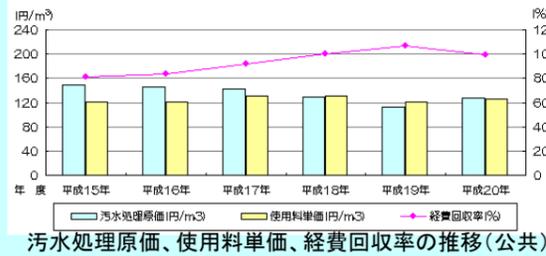
平成22年3月 策定  
 石 狩 市

# 石狩市下水道中期ビジョン

## 現状と課題

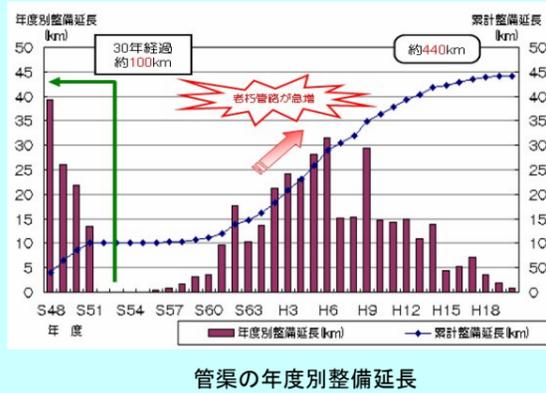
### ◆下水道経営について

- 公共下水道事業(茨戸・手稲・八幡処理区)は経営改善の取り組みや、定期的な使用料の見直しを行っていることから、経費回収率が高く、安定した経営状況にあります。緊急な事故対応経費の支出などには不安が残ります
- 特定環境保全公共下水道事業(厚田・望来处理区)は経費回収率が非常に低く、更なる経営改善努力や使用料金の見直しが必要となりますが、それだけでは限界があります
- 今後は、少子高齢化や人口減少が下水道利用者の減少にもつながり、使用料収入が減少します



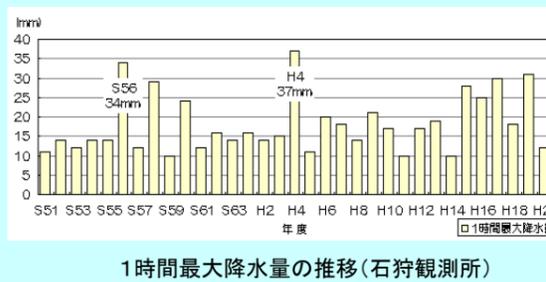
### ◆下水道施設について

- 下水道管の埋設は、昭和48年から始まり、総延長440kmとなっています。このうち約23%が既に30年を経過しています。今後、老朽管の急増が見込まれます
- 下水道管のほかにも、処理場やポンプ場の老朽化も進行しています



### ◆浸水対策について

- 雨水施設は、10年確率の降雨(34mm/h)に対応できるよう整備しています
- 整備は、主に花川南地区を道路の整備に合わせて進めています
- 水はけの悪い低地域や主要幹線の整備は、概ね終了しています



### ◆汚水処理について

- 生活排水処理施設は、公共下水道、特定環境保全公共下水道及び個別排水処理施設整備事業で整備を進めています
- 下水道の普及率は89.8%、合併浄化槽による普及率は2.4%、合わせて92.1%となっています
- 下水道整備済人口に対する水洗化人口の割合は97.6%と高水準ですが、地域によりばらつきがあります

### ◆水環境について

- 厚田・望来处理区付近の海岸沿いには漁場や海水浴場があり、下水道の普及により水環境は改善されています
- 閉鎖性水域の茨戸川は、全域で環境基準を達成するには至っていません

### ◆地震対策について

- 耐震対策をしている施設は、平成14年度以降の埋設管と、八幡処理場、厚田及び望来浄化センターです
- 耐震診断をしていない施設は、平成13年度以前の埋設管と、茨戸水再生プラザ及び汚水中継ポンプ場4箇所です

### ◆低炭素・循環社会について

- 汚泥の一部は札幌市に処理を委託しており、建設骨材として再利用されています
- 厚田、望来の浄化センターは、処理方法に嫌気好気ろ床法を採用していることから、汚泥はほとんど発生していません

## 基本理念

## 暮らしと環境を守る下水道を次代へ

### 基本方針

### 将来目標

### 将来目標を実現するための具体的施策

#### 快適な環境を守る

#### 汚水管整備の完成

#### ◆効果的な汚水処理の推進

- 下水道認可区域については、汚水管整備の完成と水洗化の促進を目指します
- 下水道認可区域外については、個別排水処理施設整備事業等による合併浄化槽の整備を進めます

#### 水環境の向上

#### ◆公共用水域の水質保全(高度処理)

- 茨戸川の水質改善に寄与するため、茨戸水再生プラザの高度処理施設建設の導入に努めます

#### 安全な暮らしを支える

#### 地震に強い下水道

#### ◆耐震診断と補強工事

- 耐震対策が取られていない施設は、その重要度を考慮して耐震診断と補強工事を進めます

#### 浸水に強い下水道

#### ◆雨水の整備

- 花川南地区の雨水管整備を、道路整備に合わせて進めます

#### 下水道施設の適正管理

#### ◆施設の効率的な改築・更新

- 定期的な劣化状況調査をします
- 施設の建設から維持管理、解体撤去に至るまでの生涯費用(ライフサイクルコスト)が、一年あたり最小となるように計画的な改築及び更新を行います

#### 安定した経営を目指す

#### 経営基盤の強化

#### ◆支出の削減(民間委託・維持管理費・職員数の見直し)

- 維持管理の効率化と質的向上、包括的民間委託などを進めます
- 多様な課題に向けた、職員の技術力向上・執行体制について見直します

#### ◆収入の確保(有収率および収納率の向上・使用料の見直し)

- 有収率・収納率の向上を図るなど、健全化に努めます
- 公共下水道事業は、引き続き経営努力を重ね、4年に一度使用料を見直します
- 特定環境保全公共下水道事業は、更なる経営改善努力や使用料見直しが必要ですが、それだけでは限界があるので、一般会計からの支援や公共下水道との統合など解決策を検討します

#### ◆札幌市建設負担・維持管理負担の軽減

- 建設費・維持管理費負担の軽減を目指します